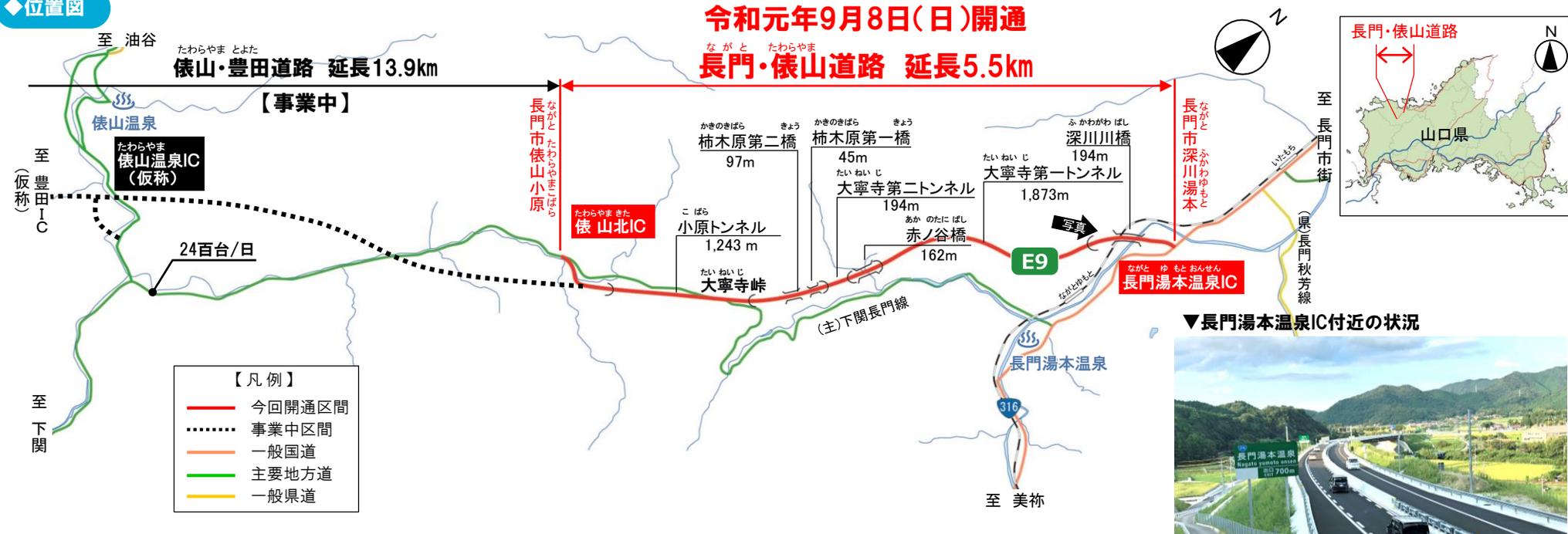


# 事業の概要(【E9】山陰道 長門・俵山道路)

- 山陰道の一部を構成する長門・俵山道路は、線形不良区間の回避、救急活動の支援、災害による通行止めの回避、物流ネットワークの確保、観光活性化支援等を目的とし、平成20年度に事業着手、平成24年度より用地取得に着手、平成26年度より工事に着手してきました。
- 令和元年9月8日(日)に長門湯本温泉IC～俵山北IC間の延長5.5kmが2車線で開通しました。

## ◆位置図



▼長門湯本温泉IC付近の状況



## ◆計画概要

起 終 点	起点:長門市俵山小原 終点:長門市深川湯本
延 長	5.5km
車 線 数	2車線
開 通	令和元年9月8日(日)

## ◆標準断面図



# ① 安全・安心の確保(線形不良区間の回避)

- 事業区間に並行する下関長門線の大寧寺峠周辺では約160m以上の高低差がある中で急カーブが連続しています。
- 長門・俵山道路の開通により急カーブ区間が回避可能となり、また高低差が約30m緩和され、走行性・安全性の向上が期待されます。

## ◆長門・俵山道路並行区間の線形不良箇所の状況



下関長門線 大寧寺峠周辺の道路状況 (写真①)



下関長門線の急カーブ区間の状況 (写真②、写真③)

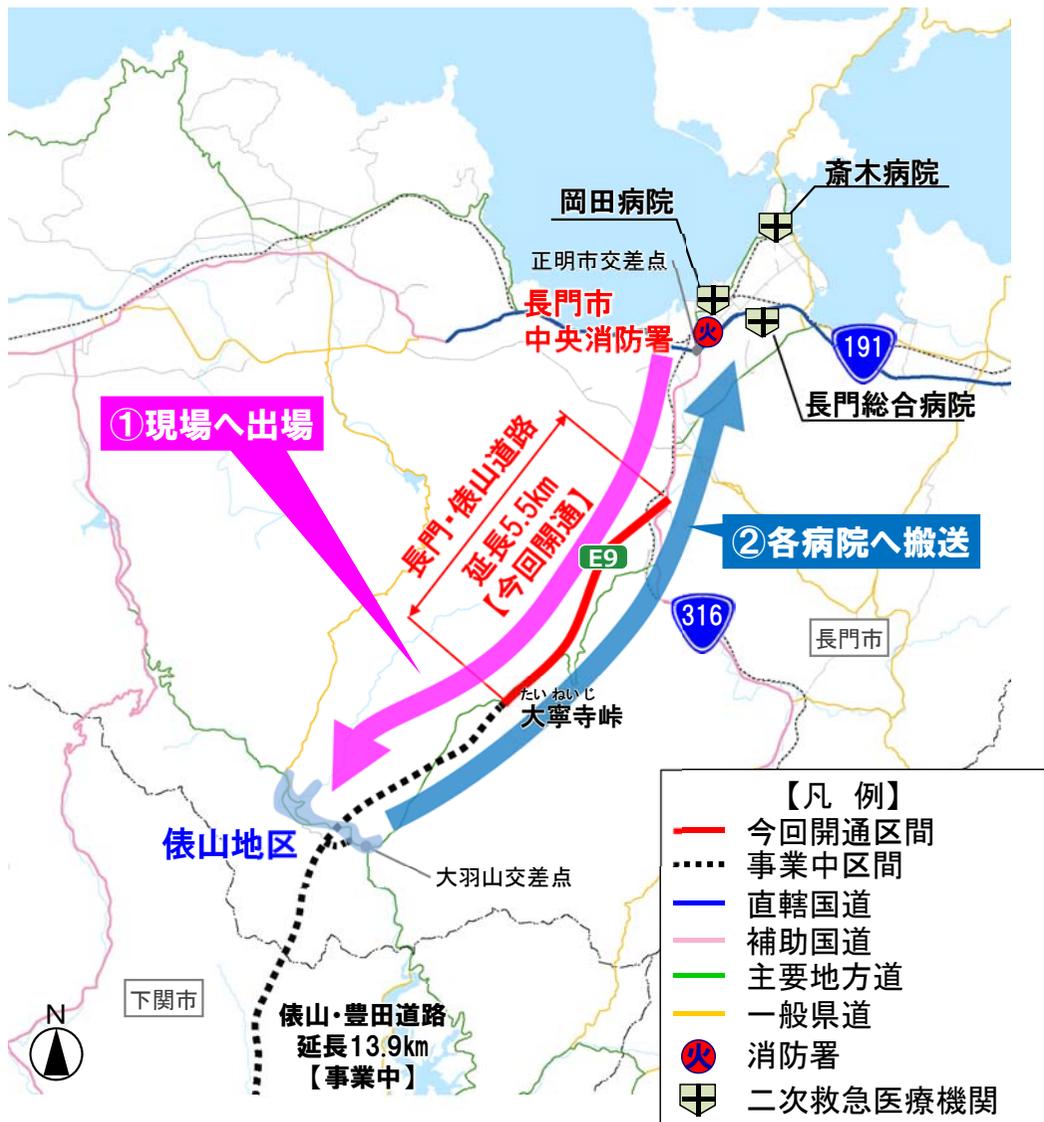


【凡例】	
<span style="color:red">—</span>	今回開通区間
<span style="color:black">⋯⋯⋯</span>	事業中区間
<span style="color:orange">—</span>	一般国道
<span style="color:green">—</span>	主要地方道
<span style="color:yellow">—</span>	一般県道
並行区間の線形不良箇所	
<span style="color:red">▶</span>	R<150m
<span style="border:1px solid blue; border-radius:50%; padding:2px;">標高●●m</span>	
資料: 国土地理院の電子国土Webシステム	

## ② 救急活動の支援

- <sup>たわらやま</sup> 俵山地区へは<sup>ながと</sup> 長門市中央消防署からの出場となるため、現場到着に時間を要しています。
- <sup>たわらやま</sup> 俵山地区への出場は約56件/年であり、同地区から約15人/年の重症患者が搬送されています。
- <sup>ながと・たわらやま</sup> 長門・俵山道路の開通により、搬送時間短縮と現道の急カーブ区間回避により、搬送時の患者への負担が軽減します。

### ◆事業区間周辺の消防署および二次救急医療機関の所在地



### ◇長門市消防本部の管轄における救急出場件数

出場方面	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H26～H30年の平均出場件数
俵山地区※	63	58	49	57	51	56件/年
内、重症患者の搬送(陸送)	16	10	15	19	15	15人/年

資料：長門市消防本部ヒアリング結果

※中央署の救急車出場中のため西消防署管内からの応援出場(H26:2件、H27:1件、H30:3件)含む。  
※俵山地区の救急出場件数には、ドクターヘリによる搬送を含む。  
(搬送先：H28済生会下関総合病院(2人))

### ◆所要時間の短縮効果(予測)

俵山地区への現場到着時間および長門市街までの搬送時間の短縮



※長門市中央消防署の救急車両でのプローブデータによる実測結果より(H27.12～H28.2)  
※開通後の長門・俵山道路の旅行速度は、70km/hを設定  
※俵山地区は大羽山交差点通過時、長門市街の各病院までは正明市交差点通過までの時間および長門市中央消防署へのヒアリング結果をもとに算出

### ③ 災害による通行止めの回避

- 俵山地区周辺道路では時間雨量超過による通行規制区間が各方面に存在しています。
- 長門・俵山道路並行区間である下関長門線の大寧寺峠周辺では、過去10年間で豪雨による事前通行規制や災害により通行止めが延べ約71日間発生しています。
- 長門・俵山道路の開通により、通行止め時の代替性が確保されます。

#### ◆ 俵山地区周辺の道路状況および通行止実績

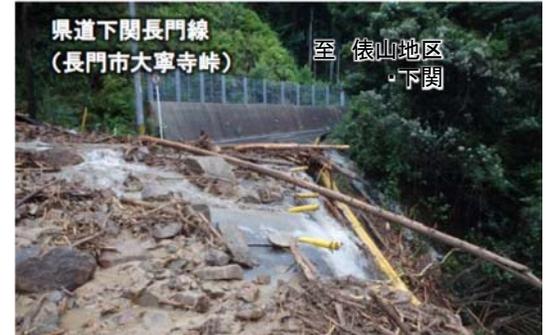


H21年7月中国・九州北部豪雨による大寧寺峠の被災状況(写真①)



全面通行止 : 平成21年7月21日9:00  
~ 平成21年9月28日13:00  
片側通行規制: 平成21年9月28日13:00  
~ 平成21年11月30日17:00

全面通行止および  
片側通行規制で  
4ヶ月以上の影響



H27年8月25日の被災状況(写真②)

# ④ 地域産業の支援(物流ネットワークの確保)

○長門市内はイカ類の県内シェア第1位、真アジの県内シェア第2位を占める水産業の盛んな地域です。また山口県は全国第4位を誇るかまぼこの主要生産地であるが、これらの多くが下関・九州方面へ毎日出荷されています。  
○山陰道の開通により、安定的な出荷が可能となり、地域産業の活性化が期待されます。

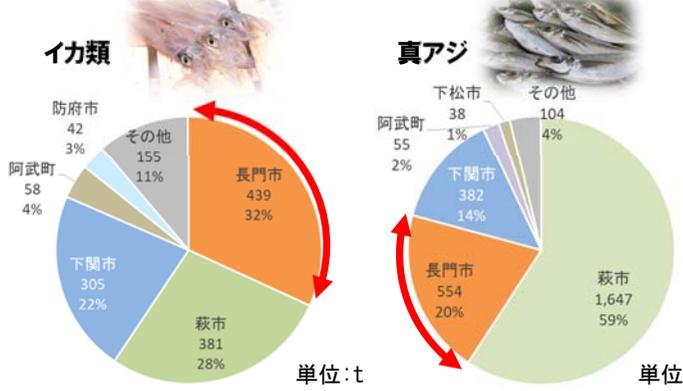
## ◆長門市⇒九州方面間への水産加工品の搬送状況(一例)



※長門市内の水産加工食品製造へのヒアリング調査(H28年1月)をもとに作成

## ◆水産品の県内シェアおよび出荷先

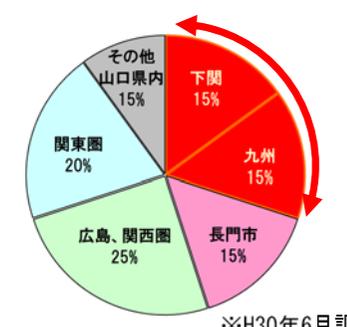
### ▼水産品の山口県市町別漁獲量



**長門市は県内第1位**  
写真/長門市提供

**長門市は県内第2位**  
資料: H29海面漁業生産統計調査

### ▼長門市の水産品の出荷先



**下関・九州方面へ約3割**  
資料: 山口県漁業協同組合長門統括支店

## ◆長門市の水産加工品の状況

### ▼かまぼこの都道府県別生産量



資料: H29水産加工統計

## ◆所要時間の短縮効果(予測)

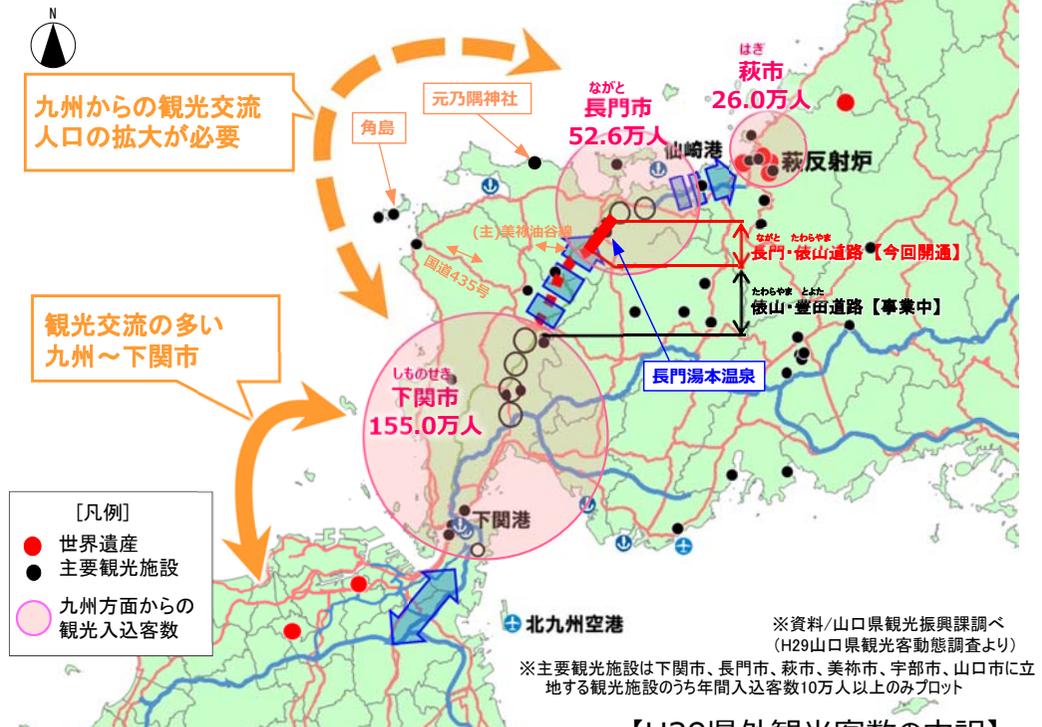


※所要時間は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に算出、市道部の旅行速度は30km/h、長門・俵山道路および俵山・豊田道路の旅行速度は70km/hを設定、福岡県内は門司港IC通過時を設定

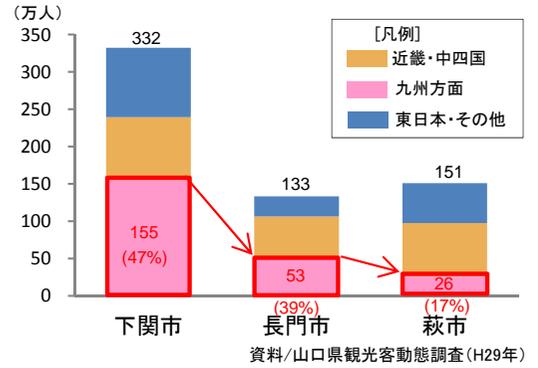
# ⑤ 広域周遊観光の活性化支援

- 平成27年7月に山口、九州等に分布する「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界遺産に登録されています。
- 山陰道の開通により、観光地間が高速ネットワーク化され、九州から山口県北部への観光交流人口の拡大が期待されます。
- 山口県および周辺市町では、魅力ある観光地域づくりや必要なアクセス道路の整備など、山陰道を活用した広域観光周遊ルートの形成に向け、取組みを実施しています。

## ◆九州方面から山口県への観光交流人口



## 【H29県外観光客数の内訳】



## 広域観光周遊ルートの形成

○幹線道路と観光地、または観光地相互の移動時間の短縮や周遊ルートの形成に資する国道・県道の整備を促進。  
※おいてませ山口観光振興計画(H29.3)

○「やまぐち未来開拓ロードプラン」に基づき、山陰道を活用した広域周遊観光に資する道路を計画的に整備。  
※「やまぐち未来開拓ロードプラン」の次期計画を策定予定

【アクセス道路の整備事例】

- 「元乃隅神社」へのアクセス  
(主) 美祢油谷線(俵山工区) : 平成30年代前半開通予定  
(主) 美祢油谷線(砂利ヶ塚工区) : 平成30年代前半開通予定
- 「角島」へのアクセス  
(主) 435号(滝部～神田工区) : 平成30年代中頃開通予定  
※やまぐち未来開拓ロードプランほか

山陰道などの整備促進

九州方面からの観光レジャー客獲得

## 世界遺産への登録

○「明治日本の産業革命遺産」として九州・山口を中心に8県11市の23の資産が世界文化遺産に登録、萩エリアは萩反射炉、松下村塾など5資産で構成(H27.7)

山口県萩市に点在する世界遺産

- ▼萩反射炉
- ▼松下村塾(萩市)

2015年 世界遺産に登録! HAGI Sites of Japan's Meiji Industrial Revolution 明治日本の産業革命遺産

## 長門湯本温泉の再開発

○長門市が公民連携により長門湯本温泉を活性化すべく、まちづくり基本計画「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定(H28.8)

○当該計画の進捗と並行し、民間企業による投資として、公衆浴場「恩湯」の建て替え(R1年内)、民間リゾート会社が手がける高級旅館(R2.3)が開業予定であり、公民が一体となった温泉街の魅力向上を図る取組が進められている。

進む再開発計画

- ▼公衆浴場「恩湯」周辺の完成イメージ
- ▼温泉街の魅力向上を図る取組

川床テラスの設置

写真/長門市提供

イメージ図/長門市提供

# ⑥ ラグビーワールドカップ2019日本大会キャンプ地内の円滑な移動の確保

- 長門市は、ラグビーワールドカップ2019日本大会に出場するカナダ代表チームの事前および公認キャンプ地に決定しています。
- 長門・俵山道路の開通により、選手団および関係者、報道関係者が練習拠点である俵山スパスタジアムと長門市街とをスムーズに移動することが可能となります。

### 俵山スパスタジアム(長門市俵山多目的交流広場)

平成30年8月にクラブハウス・観客席・夜間照明設備等が完成したことで、**世界水準のラグビー拠点施設**となる。



写真/長門市提供



写真/長門市提供

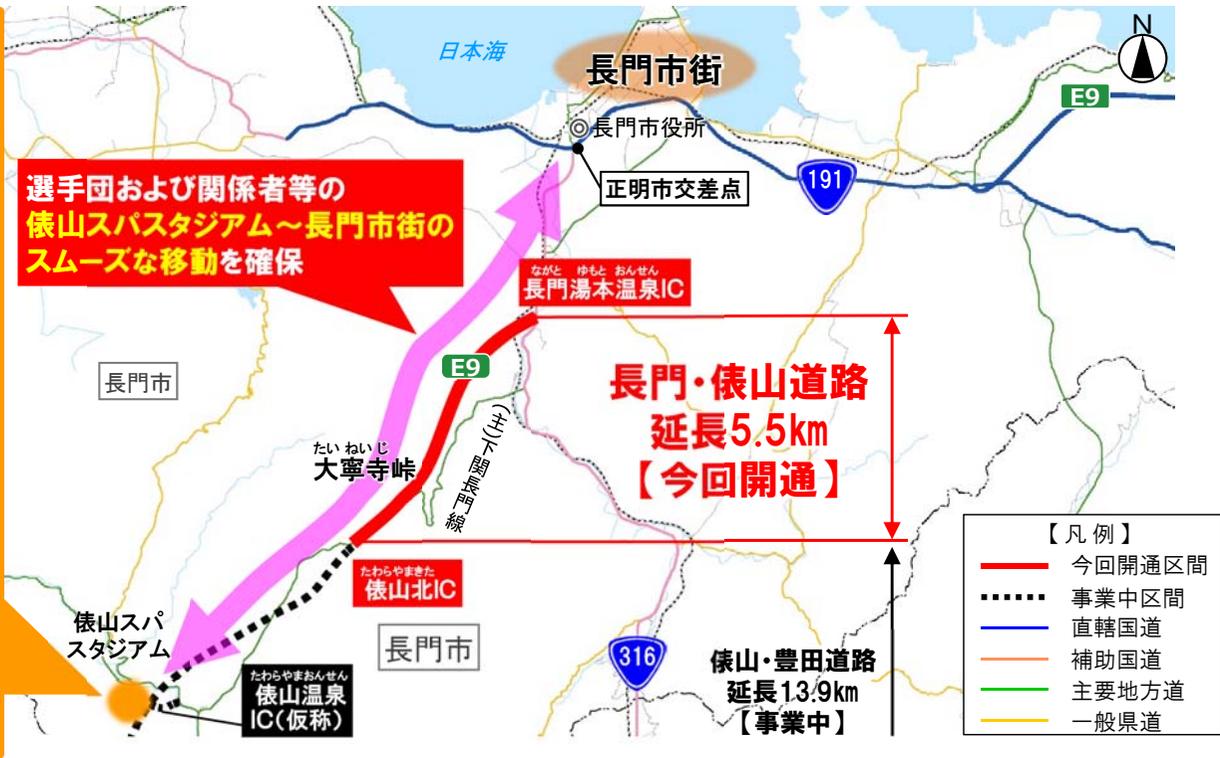
**■施設の概要**

- 天然芝グラウンド1面(11,560㎡)
- 人工芝グラウンド1面(11,470㎡)
- 土グラウンド1面(8,090㎡)
- 管理棟  
(事務室、トイレ、シャワー室、多目的ホール)
- クラブハウス  
(ロッカールーム、医務室、チームルーム、マルチメディアルーム等)
- 駐車場(130台収容)

**ラグビーの試合の様子**



写真/長門市提供



## ▼ラグビーワールドカップ2019日本大会公認キャンプ地招致の活動経緯・今後の予定

年月	内容
2013年6月	「ラグビーワールドカップ2019長門市招致委員会」発足
2015年12月	「長門市世界大会等キャンプ招致基本計画」策定
2018年7月	公認チームキャンプ地契約の締結
2018年11月	カナダ代表チームのキャンプ地に決定 <b>2019年9月8日 長門・俵山道路開通</b>
2019年9月12～16日	カナダ代表チームの事前キャンプ実施
2019年9月17～22日	カナダ代表チームの公認キャンプ実施(初戦前まで)

事前キャンプ：チームの了解が得られれば一般にも公開可能なキャンプ  
公認キャンプ：報道陣に限って公開可能なキャンプ(市民ふれあい活動は2回実施)

### ◆所要時間の短縮効果(予測)

俵山スパスタジアム  
(長門市俵山多目的交流広場)

[開通前] 下関長門線(大寧寺峠)経由

約21分

[開通後] 長門・俵山道路経由

約17分

約4分短縮

長門市街

※所要時間は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に算出、長門・俵山道路の旅行速度は70km/hを設定

### 《訪日外国人に対応した標識案内》

▲山陰道の高速道路ナンバリング標識